

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号479

発生場所 病室

発生場所（その他）

関連したもの 機器

精神・意識障害の有無

あり

発生内容の分類

治療・処置

医療機器等

ドレーン・チューブ

リスク

E. スタッフが作業する上での環境上のリスク

発生内容

吸引チューブの酸素流量計（フロート）つまみ接触による流量変動。

概要

2 ヶ月間で同一患者の酸素流量の変動が3 回報告された（患者著変なし）。変動範囲は全て1 ℓ/min（期中酸素は2 ℓ/min 指示、3 ℓ/min と1 ℓ/min の報告）。

要因

該当患者室のアウトレット配置では吸引ホースが酸素流量計（フロート）つまみに接触し流速設定が変動しやすい。吸引後にホースを吸引器にまきつけて保管するとホースがつまみに接触する可能性がある。今回のインシデントは、「頻回な吸引（回数が多いほどつまみへの干渉増）」「患者左手側に酸素系アウトレット配置」「酸素流量計がフロート式」の条件が重なり発生したと考えられる。

対策

該当部門では酸素流量計をダイヤル式（吸引ホース接触による流量設定変動リスク低）に全て交換。

参照



手順を再現する現場検証を実施し、写真を撮影。

吸引ホースが酸素流量計つまみに接触すると流速設定が簡単に変動。

吸引後にホースを吸引器にまきつけて保管すると、ホースが外れ、つまみに接触する可能性がある。